



THORGEBÄUDE EINES GEFÄNGNIS



コーナー展

旧豊多摩監獄表門
ひょうもん
関連展示 2024

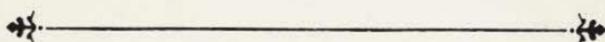
2024年

5月28日(火) - 7月14日(日)



山崎記念

中野区立歴史民俗資料館



旧豊多摩監獄は、江戸時代の小伝馬町牢屋敷の流れをくむ市谷監獄が、大都市東京の膨張に伴い、規模を拡大し中野に移転して、大正4年(1915)に竣工したものです。後に豊多摩刑務所、中野刑務所と名称を変え存続しましたが、解放運動なども起こり、昭和58年(1983)に廃止されました。跡地では遺跡の発掘調査が行われ、250軒余りの弥生時代の住居跡が発見されています。唯一残された表門は、建築家・後藤慶二の設計で、令和3年6月4日に中野区指定有形文化財に指定されました。

竣工以来の施設の写真や関連資料を紹介するとともに、遺跡から発掘された土器や所内で使われた食器などを展示します。



豊多摩監獄で用いられた食器と赤れんが

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4
TEL (03) 3319-9221 FAX (03) 3319-9119

入館料 無料

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日・第3日曜日

次回展示のご案内

【企画展】あつまれ動物! | 2024年6月18日(火)～8月11日(日・祝)

開館の状況など、資料館の最新情報はホームページ等でご確認ください。

ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



山崎記念

中野区立歴史民俗資料館

掲載の展示・イベント等中止または延期、内容などが変更される場合があります。